

拳道学・空手道学・幸栄館空手道 平成31年春季 昇級昇段試合

～競技の試合から和の試合～

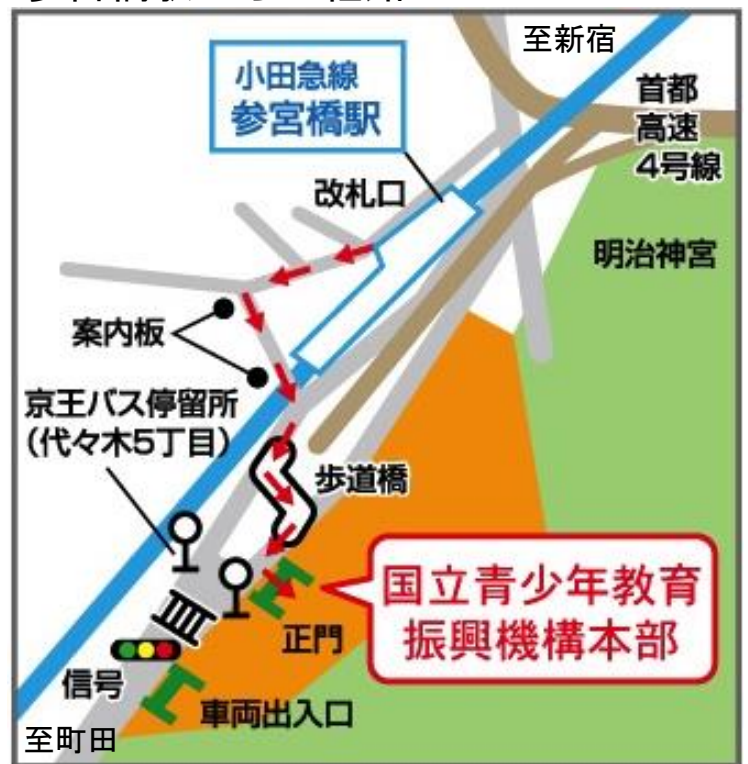
完全防具により、安心・安全に実用性の高い技の研究が可能となる。
他者のことを考え、競技試合を超えた「和の試合」へ改革。

日時：平成31年4月29日（月・祝）12時30分集合・13時00分開始
会場：国際オリンピック青少年センター スポーツ棟 第3体育館
小田急小田原線参宮橋駅より徒歩7分
主催：一般社団法人空手道学研究所 <http://www.karatedougaku.com>

注意事項

- ・試合参加申込書と審査料（500円）は**事前に指導者へ**お渡しください。
- ・当日は**12時30分**までに、第3体育館へ集合してください。
- ・会場に到着後、まず自分の師範に到着したことを必ず伝えて下さい。
- ・防具なし試合（体触れ）参加者は**手袋**を必ず持参してください。
- ・試合当日は、取材が入ることがあります。

参宮橋駅からの経路



施設案内図



幸栄館空手道の試合について

幸栄館空手道は、人間的成長をめざすものであるため、試合もこれに沿ったものとなっています。

幸栄館空手道では、昭和30年から「空手界最初のスポーツ化」を試みた結果、「勝者が驕り、高慢な態度をとるようになる」というスポーツの欠点に気づき、「勝ち負けを重視しない試合」を確立しました。

相手と競うのは、「共に成長する」ためのものとして位置付けられており、互いに認めあい、自分にとって不利益となっても相手を褒められる、人としての大きさを養います。

試合の特徴

第一は、判定は当事者本人が行います。審判はその宣告、および進行役です。

第二は、試合は自己中心でなく相手との和にあることです。



上図は右の中段突きが決まったところである。



直後、技を決められた選手が手を挙げ、その旨を審判に伝えている。奥では話し合いの様子が伺える。



体触れでも自己判定を行う。技を決められ挙手宣言した選手の意を受け、審判が決めた選手の本数を宣告している。

試合の種類



完全防具試合



体触れ



師範と子供の試合